

文書分類番号	00	09	03	002	永 年	起案	平成 年 月 日	決裁	平成 年 月 日
議 長	副 議 長	局 長	副主幹	主 査	担 当	担 当	文書取扱主任		

第 28 回 経 済 建 設 常 任 委 員 会 会 議 録

開催年月日		平成 25 年 8 月 8 日（木曜日）		開会 9 時 58 分		閉会 10 時 43 分	
開 催 場 所		第一委員会室					
出席委員		山口、山本、坂井、小野、三上、荒木				事務局	菊井事務局長
		議長、委員外～清水、木下、窪之内					和田副主幹
欠席委員							村井主任主事
説明員		別紙のとおり			議 件	別紙のとおり	
議 事 の 概 要	1. 所管からの報告事項について						
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、報告済みとした。						
	(1) 専決処分について						
	(2) 風力発電事前調査に係る事業者の決定について						
	(3) 大規模太陽光発電所誘致に伴う不動産の減額貸付けについて						
	(4) 産業チャレンジ助成金事業について						
	(5) 平成 25 年度滝川市商店街等賑わいづくり事業の採択結果について						
	(6) 「大相撲ジャカルタ巡業 Japan Travel Expo」への出展について						
	2. その他について						
	なし						
	3. 次回委員会の日程について						
	8 月 29 日（木）10 時 00 分から開催することに決定した。						
上 記 記 載 の と お り 相 違 い な い。 経 済 建 設 常 任 委 員 長 山 口 清 悦 ㊦							

平成25年8月6日

滝川市議会議長 水 口 典 一 様

滝川市長 前 田 康 吉

経済建設常任委員会への説明員の出席について

平成25年8月1日付け滝議第73号で通知のありました経済建設常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

副市長	鈴 木 光 一
経済部長	千 田 史 朗
経済部次長	居 林 俊 男
経済部商業観光課長	浦 川 学 央
経済部商業観光課副主幹	柳 圭 史
経済部商業観光課主査	青 木 康 男
経済部商業観光課主任級主事	平 沼 昭 徳
経済部産業振興課副主幹	阪 本 康 雅
経済部産業振興課副主幹	諏 佐 孝
経済部産業振興課主事	三戸部 達
建設部長	大 平 正 一
建設部技監	高 瀬 慎二郎
建設部建築住宅課主幹	伊 藤 和 博
建設部建築住宅課主査	薦 田 啓 之
建設部建築住宅課主任主事	佐 藤 彰 真

(総務部総務課総務グループ)

第28回 経済建設常任委員会

H25. 8. 8 (木) 10:00～
第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

1. 所管からの報告事項について

《建設部》

（1）専決処分について

（資料）建築住宅課

《経済部》

（2）風力発電事前調査に係る事業者の決定について

（資料）産業振興課

（3）大規模太陽光発電所誘致に伴う不動産の減額貸付けについて

（資料）産業振興課

（4）産業チャレンジ助成金事業について

（資料）産業振興課

（5）平成 25 年度滝川市商店街等賑わいづくり事業の採択結果について

（資料）商業観光課

（6）「大相撲ジャカルタ巡業 Japan Travel Expo」への出展について

（資料）商業観光課

2. その他について

3. 次回委員会の日程について

8月29日（木）10時00分 第一委員会室

○ 閉 会

第28回 経済建設常任委員会

H25. 8. 8 (木) 10:00～

第 一 委 員 会 室

開 会 9:58

委 員 長 ただいまより第28回経済建設常任委員会を開会いたします。

委員動静報告

委 員 長 委員動静ですが、委員全員出席であります。議長出席。委員外議員として、清水議員、木下議員、窪之内議員の出席を許可いたします。傍聴として、北海道新聞の傍聴を許可いたします。

1. 所管からの報告事項について

委 員 長 1、所管からの報告事項について、(1)、専決処分について説明を求めます。

(1) 専決処分について

薦田主査 (別紙資料に基づき説明する。)

委 員 長 説明が終わりました。議案関連となっておりますのでご留意ください。
質疑ありますか。

(なしの声あり)

委 員 長 それでは、報告済みといたします。

(2)、風力発電事前調査に係る事業者の決定について説明を求めます。

(2) 風力発電事前調査に係る事業者の決定について

居林部次長 (別紙資料に基づき説明する。)

委 員 長 説明が終わりました。
質疑ありますか。

(なしの声あり)

委 員 長 それでは、報告済みといたします。

(3)、大規模太陽光発電所誘致に伴う不動産の減額貸し付けについて説明を求めます。

(3) 大規模太陽光発電所誘致に伴う不動産の減額貸し付けについて

居林部次長 (別紙資料に基づき説明する。)

委 員 長 説明が終わりました。
質疑ありますか。

(なしの声あり)

委 員 長 それでは、報告済みといたします。

(4)、産業チャレンジ助成金事業について説明を求めます。

(4) 産業チャレンジ助成金事業について

諏佐副主幹 (別紙資料に基づき説明する。)

委 員 長 説明が終わりました。
質疑ありますか。

荒 木 申請があった6件全部が採択されたのか、そのほかにも申請があったのか伺います。

諏佐副主幹 最終的に申請という形で出てきたのは、この6件になります。そのほかにも四、五件相談を受けていますが、申請には至っていないというところです。

委 員 長 ほかに質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みといたします。

(5)、平成 25 年度滝川市商店街等賑わいづくり事業の採択結果について説明を求めます。

青木主査 (5) 平成 25 年度滝川市商店街等賑わいづくり事業の採択結果について
委員長 (別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わりました。

質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みといたします。

(6)、「大相撲ジャカルタ巡業 Japan Travel Expo」への出展について説明を求めます。

柳副主幹 (6)「大相撲ジャカルタ巡業 Japan Travel Expo」への出展について
委員長 (別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わりました。

質疑ありますか。

坂 井 事業の概要のところ、出展内容に滝川観光PRブースの設置とあり、そこに外国語パンフレットとあるのですが、その具体的な言語、どんな外国語でPRするのか伺います。

柳副主幹 現地の言葉はインドネシア語なのですが、いろいろ北海道運輸局にも話を伺ったところ、訪日旅行の有望な旅行者層としては、中華系のインドネシアの方ということで、観光協会のほうで作成された英語と中国語の繁体字のパンフレットを持ってPRをしてこうと考えています。インドネシア版のパンフレット作成は間に合わない、一応その2つのパンフレットで十分足りるのではないかとということで北海道運輸局からも指導をいただいて、その言語でPRしようと考えています。

坂 井 来場見込み数 1 万 5,000 人から 2 万人とあるのですが、この辺を来場される方は、中国語と英語で事足りるという判断で、中国語と英語の外国語パンフレットを用意するということか伺います。

柳副主幹 実際にどういう方がいらっしゃるかというと、かなり富裕層の方などがいらっしゃるということです、そういう方は中華系の方が多いということで、そういう対応をしていこうと考えております。

坂 井 なぜインドネシアの言語のパンフレットを用意しなかったのか伺います。
浦川課長 1 万 5,000 人から 2 万人は、大相撲ジャカルタ巡業の会場にいらっしゃる方で、その隣で日本政府観光局で、国内の自治体、旅行会社等で日本観光の誘致のためのブースを開くのですが、そこに来て実際のお客さんになるのは、ジャカルタの中でもある程度お金を持っている方ということで、ターゲットは中華系の方と北海道運輸局からも話がありました。ジャカルタ語のパンフレットを道内では札幌市がつくっていますが、それを見て我々が説明できるようなものにもなり得ないこともありまして、既存のもので対応していくのが妥当だと考え、時間的なこと、コスト的なこともあり、今回は既存の英語版と繁体字版のパンフレット2種類で対応するというように考えています。あと、北海道観光振興機構でつくっているパンフレットは、必ずしもジャカルタ語ではないですが、そういったものもいただいて、北海道についてその場所の説明から始まるような、また外国語版のマップ的なものも、それもジャカルタ語ではないのですが、

委員 長
木下委員外議員
委員 長

そういったものを持っていくことが、今の段階ではベストではないかと考え、そのような形で進めていきたいと考えています。

ほかに質疑ありますか。

費用の関係について伺います。

ただいま木下委員外議員より質疑の申し出がありましたが、これを許可してよろしいですか。挙手をお願いします。

(挙手多数)

委員 長
木下委員外議員

それでは、2分間をお願いします。

滝川市からの参加者の関係ですが、J Aたきかわ販売部、たきかわ観光協会及び滝川市の費用負担の割合をお伺いします。

浦川課長

今回の出展に関して、出展料は無料です。それぞれのスタッフがそれぞれの組織から出される旅費と事前にPRグッズですとか、J Aは展示用の米や向こうで着るはっぴ、米のディスプレイ用のものを持ち込みたいと考えており、その送料はJ Aで負担するということで、あと、現場に行つてPR用の機材、椅子1脚幾らというものを事後払いになると思いますが、3団体で分割して支払いたいと思います。

木下委員外議員

出張の関係については、それぞれのところから支払うということで理解しました。

委員 長
清水委員外議員
委員 長

ほかに質疑ありますか。

費用の関係とインドネシアの米事情について伺います。

ただいま清水委員外議員より質疑の申し出がありましたが、これを許可してよろしいですか。挙手をお願いします。

(挙手多数)

委員 長
清水委員外議員

それでは、2分間をお願いします。

市職員については、市が費用を持つと、これは予算措置されていないので、款項目でいうと何費から出されるのか伺います。

もう一点は、インドネシアでは恐らく短粒種もやっているのかと思うのですが、日本の米がどの程度輸入されていて、どういう評価を受けつつあるのか、総量的に大きな拡大が見込めるのか伺います。

浦川課長

出張旅費については、交通費のみで10万円くらいという見積もりですが、それに日当、宿泊費、海外出張なので支度料が旅費条例で認められており、まだ積算はしていませんが、この日数分の額になると思います。予算については、ことし、台湾、香港、シンガポール等の東南アジアについて、PR活動、プロモーション活動ができるようにと旅費を組んでいました。それが具体的にいつ、誰が行くかということはなかったのですが、今回その旅費を充てさせてもらつて、この出展を行いたいと思っております。

米事情ですが、もともと輸入はされていなかったのですが、インドネシアの国の改革で米の緑の革命というものがありましたが、それが余りうまくいかなかったということもあって、米の輸入も少しずつ認められることになっています。国内では、秋田などが輸出していると聞いており、国内のライバルは秋田ですが、本当のライバルはカルフォルニア米だと聞いております。それで、今回はおにぎりの配布ということを考えているのですが、インドネシアにある輸入会社がおにぎりの製造機を今回の事業にあわせて購入し、その会社がインドネシアでコンビニなどで売られているおにぎりの製造を考えているということです。

が、そういったところでJ Aも行っておにぎりをPRし、どうなるかわからないのですが、実際に行ってイベントプロモーションだけでなく、ジャカルタ内の卸商社などの相手を見きわめていきたいという思いで一緒に行くということになっております。

委員長 ほかに質疑ありますか。

窪之内委員外議員 参加の目的について伺います。

委員長 ただいま窪之内委員外議員より質疑の申し出がありましたが、これを許可してよろしいですか。挙手をお願いします。

(挙手多数)

委員長 それでは、2分間をお願いします。

窪之内委員外議員 これに参加する目的なのですが、J Aは米の輸出の方向を探るのかと思うのですが、観光協会と市はどのような目的で行って、その結果を生かそうとしているのかということが見えてこない。例えば、そういう観光として、旅行客の獲得ということがあるのかどうか。それでなければ、その出展ブースだけの出展であれば、市は行く必要はないのです。その辺で何か目的と成果がはっきりしないということをお聞きしたいと思います。

浦川課長 今回、J Aも行って米のPRをするのですが、イベント自体は日本に観光客を引っ張ってこようという狙いで、道内では旭川市と周辺の自治体、国内でも数カ所、J N T O、日本政府観光局の出展ブースもありますし、滝川市としても観光誘致ということで行きます。北海道運輸局もできれば滝川市と一緒に行って、北海道全域のPRということもしたいのですが、なかなか調整がつかなかったもので、市に依頼があるくらい期待されております。人口が、ジャカルタ地方で2,000万人、インドネシアで2億4,000万人で世界第4位の人口があるところで、北海道運輸局としては国内に先駆けて、ジャカルタ、インドネシアからの観光客を引っ張ってきたいという思いもあり、ぜひ滝川市には参加してほしいということでした。滝川市もことし、ジャカルタまでは想定していなかったのですが、東南アジアに観光客誘致に向けたプロモーション、セールスに行きたいと考えていましたので、滝川市としては旅行客誘致ということで考えています。そのブースに絡めて、J Aも米のPRができるという位置づけで、その企業だけでは出展できない。自治体として申請しなければならないということもあって、こういった形で参加させていただきたいと考えております。

窪之内委員外議員 それであれば、イベントプロモーションは、観光関係のものなのか、観光に関するそういったPRのものを持っていくということで考えていいのか伺います。

浦川課長 イベント出展については、観光のパンフレット、ジャカルタ語では出せないのですが、滝川の映像を、特に四季という概念がないので、滝川の四季がわかるように、英語になるかもしれませんがテロップを入れて、スライドショー的に上映したいと思っています。ステージイベントの中でもおにぎりの配布の関係で横綱のポスターを張ったり、巡業に横綱が来る予定ですので、滝川で横綱がつくっている米だとPRしながら、滝川をPRしてきたいと思っています。言葉の問題でどれくらいPRができるかわからないのですが、ブースの隣は日本政府観光局で、もし何かあればそこをお願いしたり、旭川市の観光の担当者もいますし、展示ブースの中には旅行代理店が3社ほど入ることになっていますので、もし北海道に行くにはどうしたらよいのかということも、そこで費用なり、いつだったらどのようなものが見ごろかということも通訳など人を介しな

委員長 　　がら売り込みたいと思っています。
ほかに質疑ありますか。
（なしの声あり）

委員長 　　それでは、報告済みといたします。

委員長 　　**2. その他について**
2、その他についてですが、委員から何かございますか。
（なしの声あり）

委員長 　　それでは、事務局からございますか。
（なしの声あり）

委員長 　　**3. 次回委員会の日程について**
3、次回委員会の日程についてですが、8月29日木曜日、10時から開催いたします。
以上をもちまして第28回経済建設常任委員会を閉会いたします。
ご苦労さまでした。

閉　　会　　10：43